

図書館だより

第46号

2023年7月31日発行
姫路日ノ本短期大学図書館

新聞を読んでみませんか？

図書館長 谷本 章三

若者の「活字離れ」が危惧されている昨今、デジタル時代において書籍以上に、「紙」の新聞は学生の皆さんにとってなじみが薄いと思います。時間もないし、字も多い、難しい言葉も多いイメージでとつきにくい。「紙」の新聞じゃなくて無料のネットニュースで十分じゃないかと考えるかもしれません。でもネットは、スピード感があるけれど、速いがゆえに次から次へと情報が流れてしまい、頭に蓄積しにくいし、また、場合によっては信ぴょう性に欠けたり、偏った情報がインプットされることもあります。それに興味があることしか知ろうとしない習慣が身についてしまうかもしれません。その点、「紙」の新聞は、情報の信頼性や多角的に情報を取材し読者に判断材料を示すという使命を担っています。紙面をめくってみるだけで、興味の有無にかかわらず見出しが目に入り、いつの間にか世の中の動きや時事を少しずつでも知ることになったりします。それに自分が住んでいる地域の身近なニュースや情報も知ることができます。それがコミュニケーション力や情報を選択し活用する基礎力・思考力を磨くことにもつながります。社会人になれば日々それらの力が必要となります。

図書館には、書籍だけでなく新聞も置いています。図書館に来て、「紙」の新聞を時々めくってみてはどうでしょうか。もちろん家庭の新聞でも結構です。新聞って意外と面白いことが分かりますよ！

行ってみたい素敵な図書館！ part 4 【石川県立図書館】

司書 高橋玉緒

2022年7月、築50年以上経過した旧石川県立図書館は新しく建替えられ開館。

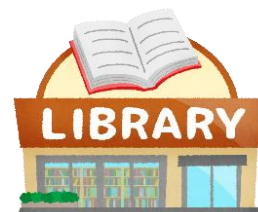
まず目を引くのは円形劇場のような書架と吹き抜けのスペース。その上を渡る「ブリッジ」と呼ばれるおしゃれなインテリアが置かれた閲覧コーナーと低めの雑誌本棚。また星空のような天井は加賀前田藩の成巽閣の「群青の間」をモチーフにしたブルーが書架や壁の木目と調和してとても美しく贅沢な空間を作り上げています。

建築家の仙田満氏が目指したのは「公園のような図書館」であると・・・。

デザイナー川上元美さん監修による、至る所に置かれた100種類以上500もの座席もそれを印象付けています。館内の個性豊かな椅子に出会えるのもこの図書館の楽しみの一つです。

100万冊の蔵書検索システムは「ブックリウム」といわれるデジタルアートを活用したプラネタリウムのようなアート空間での本との出会いを体験できます。

<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/>



○推薦図書○

津田 敏 教授

「AIは人類を駆逐するのか？」 太田 裕朗 幻冬舎新書 2020.7 ISBN : 978-4344928145



高度なAIが組み込まれた「機器(ロボット)」がこれまでよりも多様な場面で私たちの暮らしを支える未来は、すぐそこまで来ています。その結果、どのように世界が生まれ変わるのか、具体的にはまだ誰も想像することができません。今後、自律したAI、AIを“脳”に持つロボットがさらに進歩していけば、私たちは人類として、その存在価値がよりシビアに問われていくでしょう。

そうした時代の到来を控える今、テクノロジーと人類の未来を考える多くの方にとってなんらかのヒントになれば幸いです。(「はじめに」より抜粋)

「AI VS. 教科書が読めない子どもたち」

新井 紀子 東洋経済新報社 2018.2 ISBN : 978-4004150275

東ロボくんは東大には入れなかった。AIの限界一。しかし、“彼”はMARCHクラスには楽勝で合格していた！これが意味することとはなにか？AIは何を得意とし、何を苦手とするのか？AI楽観論者は、人間とAIが補完し合い共存するシナリオを描く。しかし、東ロボくんの実験と同時に行なわれた全国2万5000人を対象にした読解力調査では恐るべき実態が判明する。AIの限界が示される一方で、これからの危機はむしろ人間側の教育にあることが示され、その行き着く先は最悪の恐慌だという。では、最悪のシナリオを避けるのはどうしたらいいのか？最終章では教育に関する専門家でもある新井先生の提言が語られる。



「オランダ宿の娘」 葉室 麟 文藝春秋 2022.3 ISBN : 978-4167918408



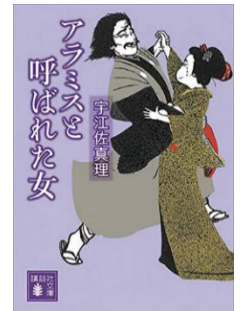
江戸に参府するカピタンの宿・長崎屋に生まれた、るんと美鶴。世界の風に触れて育った彼女達はやがて恋を知る。

時は文政、蘭学に憑かれた人々の熱情が一大疑獄「シーボルト事件」に発展。

愛する男らを姉妹は救えるのか？間宮林蔵など近代史の立役者も続々登場、極上の歴史ミステリにして清冽な青春小説。

「アラミスと呼ばれた女」 宇江佐真理 講談社 文庫 2009.4 ISBN : 978-4062762700

安政3年、坂の町、長崎。「これからの世の中、おなごが通詞になったって、罰（バチ）はあたらねえ」攘夷運動、大政奉還、戊辰戦争……一人、この時代を駆け抜けた女性がいた。男装の通詞、その生涯——安政3年、肥前・長崎。出島で働く父から、英語や仏語を習う10歳のお柳。「うち、お父ちゃんのように通詞になりたいかとよ」。女人禁制の職に憧れる幼いお柳の運命は、釜次郎、のちの榎本武揚との出会いによって大きく変わっていく。攘夷運動、大政奉還から戊辰戦争へ。激動の時代に消えた一人の「男装」の通詞。



谷本 章三 教授

「メロスの翼」 横関 大 講談社 2023.5 ISBN : 978-4065314586



あらすじ：世界中の強豪選手が集結した卓球の大会、それに急遽出場となった中国の補欠選手のユニフォームにはなぜか日の丸が縫い付けられていた。現在と過去をつなぐ絆のラリーが始まった。

小野 昌二 教授

「やる気を育てる子育てコーチング」 武田 建 創元社 2010.8 ISBN: 978-4422114484

子どもが困ったことをしたときに、子どもの気持ちを傷つけないで、お母さんが子どもに、「何を、どうやってほしいか」を「はっきり」と伝えることができれば素晴らしいと思います。子どもに気を使いすぎて、消極的に伝えてしまうこともあるでしょう。時には大声で怒鳴り、頭をたたくことがあるかもしれません。相手の気持ちや立場を傷つけることなく、自分の立場を主張するためには積極的なそして冷静な伝え方が必要になってきます。

こんな時、どうしたらいいんだろう。子育て中のお母さんや、こども園の先生方の悩みを解決していくヒントが「やる気を育てる子育てコーチング」にはあふれています。



松本 恭子 講師

「松雪先生は空を飛んだ(上・下)」 白石 一文 KADOKAWA 2023.1

上・ISBN:978-4041132234 下・ISBN: 978-404113231



この本は、タイトルにあるように 人間が空を飛ぶ話である。

空を飛ぶというとファンタジーのように思えるが、読んでいて全く違和感を覚えず 現実社会の出来事と思えてしまう。

私塾を営む松雪先生から教えを受けた子どもたち……

月日が経ち、大人になった彼ら、彼女らは、それぞれの人生に生き辛さを感じている。

その一人一人が 松雪先生から受けた教えを支えに生きていた。(1人を除いて)

別の場所、別の時を生きてきた人々が、思わぬきっかけでつながっていく。まるで磁石に吸い寄せられるように ある場所へ集結する様は圧巻である。

そして松雪先生と再会しそれぞれが新たな思いで生きようと飛び出していく。

この本は、空を飛ぶファンタジー小説ではなく それぞれの人生の謎がほどこけていくミステリー小説である。

只、結末は、本当に無責任ファンタジーだが……

日ノ本短期大学図書館 秘蔵図書紹介

司書 永野 順子

『牧野新日本植物圖鑑』 牧野富太郎著 (出版社：北隆館) 1961年

(補遺および編集：前川 文夫・原 寛・津山 尚)



今回は、NHK朝の連続テレビ小説『らんまん』のモデルとなっている 植物学者「牧野富太郎」が、愛する植物のために情熱を注ぎこんだ「植物図鑑」のご紹介です。「日本の植物学の父」といわれ、多数の新種を発見し、命名も行った近代植物分類学の権威で その研究成果は50万点もの標本や観察記録、そして『牧野日本植物図鑑』に代表される多数の著作として残っています。命名は2500種以上(新種1000、新変種1500)とされる。自らの新種発見も600種余りとされます。

「読書」という訳には行きませんが、94歳で亡くなる直前まで、日本全国をまわって膨大な数の植物標本を作製したエネルギーを感じて下さい。

